

# 令和7年度

## 第2回学校関係者評価委員会報告書

### 学校法人 専門学校

### 群馬自動車大学校

1. 開催日時 2026年（令和8年）1月19日（月）
2. 時間 13:00～14:30
3. 開催場所 群馬自動車大学校 5号館 会議室
4. 出席者 学校関係者評価委員 早野 智明様 飯野 貴行様 原澤 学様  
粕川 寿美夫様 千明 正信様  
(学校) 江利川 晴夫、岩村 昌明、木村 庸夫  
堀越 貴美彦、原 雄一、岡本 恵、大澤 徹  
欠席者 中田 雅彦、加藤 英俊

#### 5. 概要

##### (1) 開会挨拶

学校の近況について 学校側代表 江利川 晴夫  
議事進行 木村 庸夫

##### (2) 資料確認

自己評価報告書（令和7年12月作成）  
学校関係者評価委員による評価

##### (3) 自己評価報告書の基準（1）～基準（11）までの説明

##### (4) 各委員による評価結果

「当校の自己点検票結果に対する委員評価」

適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

出席委員から、全ての項目に対して4・3の判定をしていただきました。

1はありません。

##### (5) 学校関係者評価

「実施方法」学校側より令和7年度の自己評価について、自己評価報告書を使用して、1～11まで1項目ずつ達成状況、課題、特記事項について報告し、個々の項目について評価委員よりご意見をいただきました。なお、自己評価報告書の説明を事前に実施し、内容の理解度促進を図った。

議論

・項目別評価と課題、改善方策及び特記事項

評価	基準	項目	改善方策
4	1.教育理念 目標	課題	個々の学生に合わせた対応（学習指導）が継続的に行われている
		改善	時代の変化に合わせてパーパス、ビジョンを制定し、最新の知識と技術を習得させるための方策を継続していくこと
		特記事項	なし
4	2.学校運営	課題	教職員の計画的な採用が急務 教職員・学生のコンプライアンス意識の醸成
		改善	研修を計画実施、教職員の確保及び業務内容の負担軽減
		特記事項	学校経営計画を策定し計画に基づき各部署が「方針と施策」を策定
4	3.教育活動	課題	新しい教材開発の時間を確保 学生の多様化に対する教員負担軽減
		改善	企業と連携し時代に合った教材の導入 カウンセラーによる定期的なメンタルチェックを実施
		特記事項	なし
3	4.学習成果	課題	内部進学者が目標通り募集できていない
		改善	進学における将来のメリットを入学希望者へ周知させ将来設計へと導く
		特記事項	なし
3	5.学生支援	課題	留学生への経済的支援の強化 進路指導支援教員の増員
		改善	早期に進路指導支援員を確保する 同窓会活動の友好的な利用方法を確立
		特記事項	なし
4	6.教育環境	課題	女性学生の増加に伴い女性用トイレの増設 設備の老朽化を計画的な設備投資で対応
		改善	施設設備の年次点検の導入開始 大型エレベータ建て替え
		特記事項	修繕費用とのバランスを考えて施設設備の導入計画策定
3	7.学生の受け入れ 募集	課題	少子化・若者の車離れ 物価等の高騰による学費見直し
		改善	地元をはじめとするイベント等の参加の強化 小中学生に整備士の魅力を発信
		特記事項	教務部と広報部の連携強化
4	8.地域との連携	課題	可能な限り地域との連携を図る
		改善	伊勢崎市との地域包括連携協定締結（令和7年7月15日）
		特記事項	災害時など協力体制を確立
3	9.法令遵守	課題	コンプライアンスの確立
		改善	人員の確保及び業務の分散 労働環境の改善から意識改善へつなげる
		特記事項	教務部を中心にコンプライアンスの体制構築

4	10.財務	課題	学校法人として監査法人の監査を受け「適正」の評価をいただいている。理事会において報告・承認されている
		改善	なし
		特記事項	なし
4	11.社会貢献 地域貢献	課題	献血の協力、毎回学生・教員 100 名以上が協力。平成 27 年度群馬県献血功労者表彰受賞。ボランティアクラブの地域清掃・里山整備事業にも積極的に参加。群馬県自動車車体整備協同組合の研修場に車体整備科校舍提供
		改善	なし
		特記事項	なし

令和 8 年 1 月 20 (火)

記述責任者

木村 庸夫